

M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38 ご使用上のお願い

エミュレータデバッガM3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38の使用上の注意事項を連絡します。

- OSがWindowsXPであるホストPCでのLPTパラレルインタフェース使用に関する注意事項

最新情報を2003年12月16日 RENESAS TOOL NEWS "M3T-PD32R, M3T-PD308F, M3T-PD308, M3T-PD30F, M3T-PD30, M3T-PD79, M3T-PD77, M3T-PD38の使用上のお願い"でご確認ください (発生条件および回避策が追加されました)。

1. 該当製品

M32Rファミリ	M3T-PD32R V.3.00 Release 1 以降
M32C/80, M16C/70シリーズ	M3T-PD308F V.1.00 Release 1 以降
M32C/80, M16C/80シリーズ	M3T-PD308 V.3.00 Release 1 以降
M16C/60シリーズ	M3T-PD30F V.1.00 Release 1 以降
M16C/60, M16C/30, M16C/20, M16C/10シリーズ	M3T-PD30 V.6.00 Release 1 以降
79xxシリーズ	M3T-PD79 V.4.00 Release 1 以降
77xxシリーズ	M3T-PD77 V.4.00 Release 1 以降
740ファミリ	M3T-PD38 V.5.00 Release 1 以降

2. 問題

該当製品を使用したデバッグの際、以下の通信異常が発生する場合があります。

- (1) デバッガがフリーズする。
- (2) デバッガの動作が異常に遅くなる。

- (3) 通信エラーが発生する。
- (4) (3)以外のエラーが頻繁に出る。

3. 発生条件

以下の条件をすべて満たす場合に発生することがあります。

- (1) ホストPCのOSがWindowsXPである。
- (2) 通信インタフェースにLPTパラレルを使用している。

※ ホストPCによっては上記の条件を満たしても問題が発生しない場合があります。

4. 対応策

OSがWindowsXPであるホストPCでデバッグを行う場合は、通信インタフェースにLPTパラレルを使用しないでください。

LPTパラレルインタフェースを使用する場合は、WindowsXP以外のOSを使用してください。

5. 恒久対策

該当製品を改修中です。改修版の提供方法は弊社ホームページからのダウンロードを予定しています。詳細は後日RENESAS TOOL NEWSで連絡します。

[免責事項]

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。ニュース本文中のURLを予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。